



平成29年6月30日

学校だより

# 太田っ子

## 子育て4訓

1. 乳児はしっかり 肌を離すな (乳児の頃)
2. 幼児は肌を離せ 手を離すな (5歳前後から小学校低学年の頃)
3. 少年は手を離せ 目を離すな (小学校高学年から中学校の頃)
4. 青年は目を離せ 心を離すな (高校生から成人の頃)

「子育て4訓」は、山口県下に住む教育者が長年の教育経験を踏まえてまとめたもので、全くの受け売りですが…。

子どもたちの気になる行動には、人間愛、親子愛の欠落に起因している部分が多いといわれています。いわゆる、親や社会に対する「甘え」があるように思います。しかし、そうした子どもたちに「甘えるな!」と試してみても、そうせざるを得ない過程を経てきているのです。親としても教師としても社会としても、そこに目を向けることが必要であると感じています。

### 乳児はしっかり肌を離すな

出生と同時に赤ちゃんは外界にさらされ不安になります。その心の安定を保つためにも、しっかりと肌と肌を触れ合わせる事が大切です。赤ちゃんは、しっかりと抱かれることによって、「守られている」「かわいがられている」と無意識のうちに感じ、信頼し安心するのです。それが、愛情や信頼、情緒安定、他人を思いやる心など、人間形成の基盤になります。



### 幼児は肌を離せ 手を離すな

幼児は乳離れをしますが、一気に離すのではなく、常に親がそばにすることで、「心配しなくてもいいよ」という安心感を与えることが大切です。本当の生きる喜びとは、親子の絆を大切にし、温かい家庭を作り、その延長として健全な社会を形成していくのです。家庭の存在は大きいです。

### 少年は手を離せ 目を離すな

友達との付き合いによって社会性が育つ時期なので、ここではしっかりと手を離し、活動範囲を広げてやる必要があります。ただし、いろんな危険があるので、目を離してはいけません。この時期、子どもが親に反抗したり、非行や問題行動に走ったり、いろんなことで苦しい思いをするかもしれませんが、それは成長の過程です。親として逃げず、共に成長することを心がけてください。子どもの荒れの背景には、親や友人に『こちらを向いてほしい』というメッセージであることが多いものです。

### 青年は目を離せ 心を離すな

青年期にまでなると、完全に自立していくために、自分なりの生きがい、進路を歩んでいくときであります。気持ちの上では、心を離してはいけないということです。

(校長 田窪 佳寿子)

## ～水泳指導を前に AED 研修～

日本赤十字社の救命救急士の方を招いて、講習を受けました。心肺蘇生と AED の使用に関する研修で、毎年水泳指導の前に実施しています。



いのち  
は  
ひとつ

また、おぼれそうになったら、あおむけに浮かすか、焦らず、しっかり両足をつくように指導することの大切さも教わりました。



## 6月20日 ～地域懇談会では～

夜遅い時間に、太田小学校区の自治会長さんにお集まりいただき、子どもたちの登下校の様子や危険な場所について教えていただきました。

地域の方々に支えていただいていることを痛感し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

学校でできること、本部役員さんを中心に PTA の皆様に協力願うことがこれから出てくると思います。

『みんなで子どもを守りましょう！  
地域の方々も保護者もそれを意識して声かけをしていきましょう。』

太田っ子が一人も事件事故に巻き込まれないように』

## <7月行事予定>



- 1日(土) 土曜センター：  
ストリートダンス教室
- 2日(日) 移動図書館巡回日
- 3日(月) 登校指導、教育相談(SC来校)  
通学路セーフティーネットの日  
5年生紀北合宿
- 4日(火) 5年生紀北合宿
- 5日(水) いじめなくそうデー  
委員会、集金日
- 6日(木) 読み聞かせ(5年)
- 7日(金) 下校指導
- 8日(土) 土曜教室
- 12日(水) 4～6年生：5限 学級扱い
- 15日(土) 土曜センター：野球教室
- 16日(日) 移動図書館巡回日
- 17日(月) 海の日
- 19日(水) 1学期の給食終了
- 20日(木) 1学期終業式



- 24日(月) 個人懇談
- 25日(火) 個人懇談
- 29日(土) 太田まつり

10日に日程  
を配布します



今年はどうな出し物があるか楽しみだね！

- 30日(日) 移動図書館巡回日

## <8月行事予定>

- 1日(火) 登校日
- 7日(月) 和歌山市水泳大会
- 20日(日) 4部 PTA ソフトボール  
・バレーボール大会
- 21日(月) 登校日
- 22日(火)～24日(木)  
ラジオ体操 7時